

富山県医療計画＜災害医療＞への取り組み状況

現 状			課 題	主 な 施 策	今年度の実施事業	進捗状況および今後の取り組み	目 標 2017年
指 標	県策定時	県直近					
●病院機能を維持するために必要な建物の耐震化	5 / 7 病院 (H24)	7 / 7 病院 (H26)	<p>■災害拠点病院の総合的な機能強化が必要。</p> <p>■災害拠点病院以外の病院の災害対応の向上が必要。</p> <p>■広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)を設置できるよう体制整備が必要</p> <p>■災害医療関係者の連携強化が必要。</p>	<p>●災害拠点病院の総合的機能強化(耐震化・通信確保)</p> <p>●総合臨床教育センターにおける災害医療従事者の研修</p> <p>●災害拠点病院以外の病院の災害マニュアルの作成促進</p> <p>●広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)の資機材整備</p> <p>●厚生センター・保健所単位での関係者連携会議の開催</p>	<p>○災害拠点病院等整備事業(耐震化の促進)</p> <p>○富山大学総合臨床教育センターでの救急・災害研修</p> <p>○災害拠点病院以外の病院の災害マニュアルの作成促進</p> <p>○広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)の資機材整備(平成25年度)</p> <p>○厚生センター単位での災害医療連絡会議の開催</p>	<p>○災害拠点病院の機能強化は順調に進んでいる</p> <p>○災害時の通信手段(災害時優先電話、無線等)を保有している病院の割合が少ない</p> <p>○病院の災害対策マニュアルを作成している病院の割合は増加しているが、さらなる促進に努める</p> <p>○災害時の病院、消防、行政等の役割分担、連携システムの構築が必要</p>	<p>●災害拠点病院の機能強化(耐震化、衛星通信、実働訓練)</p> <p>⇒7 / 7 病院</p> <p>●災害拠点病院の職員に対する災害医療研修の実施</p> <p>⇒実施</p> <p>●災害対応マニュアルの策定率</p> <p>⇒100%</p> <p>●広域災害・救急医療情報システム(EMIS)の操作訓練の参加人数(延)</p> <p>⇒200人</p> <p>●広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)の資機材</p> <p>⇒整備</p> <p>●災害医療関係者による会議の開催</p> <p>⇒定期開催</p>
●衛星携帯電話	4 / 7 病院 (H24)	7 / 7 病院 (H26)					
●衛星インターネット回線	0 / 7 病院 (H24)	7 / 7 病院 (H26)					
●災害実働訓練の実施	6 / 7 病院 (H24)	7 / 7 病院 (H26)					
●災害拠点病院の職員に対する災害医療研修の実施	未実施 (H24)	実施 (H26)					
●DMAT数	14.6隊 (人口100万対) (H24)	18.4隊 (人口100万対) (H26)					
●災害対応マニュアルの策定	50% (H24)	62% (H25)					
●災害実働訓練の実施	18% (H24)	21% (H25)					
●広域災害・救急医療情報システム(EMIS)への登録	77% (一般病床を有する病院) (H25)	100% (一般病床を有する病院) (H26)					
●広域災害・救急医療情報システム(EMIS)の操作訓練の参加人数	64人 (延人数) (H24)	178人 (延人数) (H26)					
●災害医療関係者による会議の開催	未開催 (H24)	開催 (H26)					